

KSKQ

ゆうとおん

通信

NO.136

2025 年 4 月号

郵便振り込み口座 00910-9-106532

編集人 (社福) ゆうとおん通信 編集委員会 八尾市久宝園 2-30-4



(写真のプロフィール)

藪内 智幸 (やぶうち・ともゆき)

1981年5月23日生まれ。校区の小中学校を卒業。

八尾支援学校高等部卒業後、無認可のスタコラハウス入所。43歳。八尾市在住。

ゆうとおんほーぷのさをり班でさをり織り、ビーズ小物等の製作に携わっておられる藪内智幸さんを紹介します。

藪内さんは、さをり班での作業に加えて、ゆうとおんバンド、演劇活動、日帰り旅行やほーぷ内でのイベントの実行委員会に、ほぼ参加し、ほーぷのメンバーを楽しませてくれる一人です。

そんな藪内さんですが、日本に数人しかいない難病と闘っておられます。毎月1〜2回の通院や、副作用の強い薬、夜寝れない事も、乗り越えて、その明るさを周囲に振りまいてくれていきます。それに加えて、メンバーや職員の手伝いを積極的にしてくれます。よく気が付き、優しい藪内さんです。

ここで、生きる びシリーズ No. 29

毎朝、メンバーや職員一人一人に挨拶は欠かしたことはありません。社交的な一面がわかります。ほーぷだけでなく、お隣のはーともにも、お手紙やプレゼントのやり取りをするお友達がたくさんいます。土曜の演劇活動の前には必ずお昼ご飯の約束をするなど、十二分に活動を楽しんでおられます。ゆうとおん以外にもお知り合いがたくさんいるようで、週末はカラオケや食事の約束をされているようです。

藪内さんの織る“さをり織り”は、絶妙な色彩感覚で、その織りで作成した服や製品はすぐに売れることが多いです。ショップの店長さんからお客さんに好評だとお褒めの言葉をいただくことも多くあります。

日々、プライベートも充実させ、毎日、さをり班での仕事も一生懸命に取り組んでくれている藪内さんです。



(聞き手)
裏家・大谷



研修委員だより



2024年度より、新しい試みの研修に取り組んでいます。
職員同士が自分の思いや悩み、今まで経験したことを語り合う機会を多く作りました。
講師を呼んで行う研修も大事ですが、まずは職員同士が笑顔になれるような研修が良いのではないかと思います。色んなテーマでリラックスしながら話す時間を共有し、最後は「楽しかった」と笑顔で帰路につける、そんな研修を今後も行っていければと思います。
また、メンタルヘルス研修にも取り組み、知らず知らずの内に心が疲れていかなないように、専門医を呼んで講習も行いました。他の人の意見を聞きながら、自身の思いも語る事で、少し気持ちも軽くなり、日々の業務にも良い影響が出ればと思っています。
専門知識も大事ですが、何よりもまず、職員が笑顔で業務に取り組める環境作りを2025年度も引き続き取り組みたいと思います!!

2024.11月 ～ゆうとおんについて語ろう～

【内容】 テーマに沿ってグループで意見交換

- ① 助けてほしい時ってどんなとき?
- ② 仕事をしていて良かったと感じる時はどんなとき?
- ③ 福祉の仕事を選んだ理由について



【感想抜粋】

- ・自分の中で、他の事業所と情報共有が出来ていないと感じていた為、いろいろな意見が聞けて参考になった。
- ・他事業所の職員と共通課題について検討できたこと、また、ポジティブに問題解決に向け話し合えた点良かった。
- ・新しい試みをされた事では、各事業所の方と情報交換をしながら出来たことがとても有意義な時間であったと思う。

メンバーさんとは向き合う毎日の中で、喜び、楽しみ、葛藤、悩みなどなど、様々な世代の職員がいるので、考え方、捉え方も十人十色です。

それぞれの思いや経験をシェアしながら、より良い支援に繋がる研修をしていきたいと思います。





ゆうとおんはーと & すもーるはーと



新しい職員が加わりました！



こんにちは！新人ではありませんが(笑)、はーとのサービス管理責任者になる予定の松岡です。現在は見習いとして皆さんとの面談等に入らせて頂いております。メンバーの皆さんからの励ましを受け、毎日元気に働かせて頂いております！！チームワークを大切にしたいはーと&すもーるはーとを自指して頑張ります♪

1月から入社し、4月から正式にはーと職員になりました。毎日メンバーさんたちに元気をもらってお仕事頑張っています！これからもメンバーさんたちの笑顔を増やすお手伝いが出来たら、と思っています。よろしくお願いします！！(中西)



今回新しく入職した杉本です。4月から社会人2年目になりました！まだまだわからないことばかりで不安もありますが、皆さんと毎日笑顔で過ごしていけるように頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いします。

こんにちは。4月から入社した小橋と申します。はーとののさわり班配属となりました。前職は重症心身障害者の日中活動事業所で働いていました。まだまだ分からないことは沢山ありますが優しいメンバーさんと職員さんのおかげで楽しく働くことができています。頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。



はーとに来てから、ちょっと驚くことがありました。もちろん、ここで働く人すべてがそうとは言いませんが、何事にも全力で取り組む人がたくさんいて、そこは胸を張って声を大にして伝えたいですね。そして、誰に対しても気遣いを忘れないメンバーさんたち。みんなのやりたい事が叶いますように、その後押しが出来るように、頑張っていくつもりです。どうぞよろしくお願いします。(松田健太)

ゆうとおんうえーぶ



新しい体制でのスタートです！
阪上さんがクッキー班に、辻村さんが内職班に加わり、新たな風が吹き込まれそうです。2025年度も様々な行事を計画して、メンバー・職員共に楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

今回は、クッキー班の藤井さんが素敵なカードを作成しているので皆さんに見ていただきたいと思います。



クッキー班の藤井奏穂です。
私は、2024年4月22日からゆうとおんうえーぶに通所しています。
今回は、私がお昼休みに作ったカードについてご紹介します。
カードを作ろうと思ったきっかけは、私自身がしんどい時にカードをみて元気になるために作ろうと思いました。
私は絵をかくのが得意ではない為、好きな画像を貼って作りオリジナルのカードを作りました。職員さんと一緒にカードを作った物もあります。大好きな土屋さんにもカードに絵をたくさんかいてもらいました。作る時にお話をしながら楽しく作る事が出来ました。
カードも今ではたくさん出来ました。
これからもしんどくなったら、作ったカードを見て元気を出して、自分のペースを大切にしながら頑張りたいと思います。
クッキー班にもだいぶ慣れてきました。これからも楽しくお仕事頑張りたいと思います。

あたたかな春風と共に新体制のほーぷがスタートしました！
この度、ほーぷの管理者とサービス管理責任者が変更になりました。
た。よろしくお願ひします。ほーぷは活動的なメンバーさんも多
く、活気にあふれて一日があっという間に過ぎていきます！メンバ
ーの笑顔と頑張る姿を見守りながら、充実した毎日していきたい
と思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。（古川）

1年半ぶりに戻ってまいりま
した。皆さまお久しぶりで
す。また皆さんと一緒に活動
できることを楽しみにしてい
ます。どうぞ、よろしくお願
ひいたします。（栞野）



管理者
古川 晶子

サービス管理責任者
栞野 真人

1年間よろしくお願ひします。

ほーぷだより
4月



お花見に行ってきました！

暖かくなってきたので、お花見に行ってきました。
場所は深北緑地。桜の木の下で、おい
しいお弁当を食べて、のんびり過ごしてきま
した！みんなで出かけるって楽しいですね！



お知らせ

5月5日（月）～7日（水） ほーぷの2階ギャラリーありありすにて
「春のさをり展」を開催します！ 通年通り、はーととほーぷの個性豊かな作品や
それ以外の授産品も展示販売いたします。ぜひ、お越しください。





▲伊勢神宮

人力車でおかげ横丁めぐり



▲近鉄特急のなかで



▼イルカとふれあうYさん



▲鳥羽水族館イルカショー

わらゆん・ふおとあるばむ
いっしょく
一泊りょこうに
いってきました♪

昨年11月29-30日、一部のわらゆんメンバーたちと、鳥羽りょこうにいって来ました。その模様をすこしだけ紙上公開しちゃいまーす、

車いすの人もお風呂にはいれてよかった♪



▲ホテル戸田家にてバイキング



伊勢うどん
たべたよ



楽しかったよ♪
イエイ
またいこね

鳥羽駅 御木本幸吉
銅像といっしょに



わらゆんは5つのグループホームを運営する共同生活援助の事業所です。それぞれのホームのカラーは違いますが、世話人は暮らしを支え、生きることを楽しむ雨のホームでありたいと願っています。



ぼちぼちいこか 田邊です。移動支援と通院を担当しています。

コロナで中断していた団体での外出が復活!! 伏見稲荷大社、尼崎城、円山公園(桜)など

いろいろな場所へ出かけています。初対面の方もおられました、すぐに打ち解け、一緒に写真を撮ったり、おしゃべりしながら散策したり、楽しませていました。

これからもいろんな場所に行きたいと思います。ガイド先のリクエストお待ちしております!



相談支援事業 「のびやか」 より

2025年度が始まりました。昨年まで在籍された松野さんが3月末で退職され、今年度からは藤本相談員と後藤相談員、福井での体制になります。藤本さんと後藤さんは2024年度から引き続きの担当で、これまでの実績と経験が豊富ですので、利用者の方も安心して頂けると思います。2025年度相談支援事業「のびやか」の運営においては、事業を継続するかどうかの話も出ていましたが、現相談員の希望もあり引き続き事業を継続することになりました。

計画相談の事業は「出会い・入り口」から始まり、「今この時」の総合的なサービス調整から、居住環境などの生活全般の調整、病気や手術など、もしもの時の相談役など多彩な役割を持ちます。制度全般の知識と多職種との連携、サービス調整会議の開催など本人を中心においた伴走者の位置づけです。支援の中心は直接支援の方ですが、「のびやか」が一番身近な相談者で、今後も支援と相談の両輪で利用者の方をサポートしていければと思います。引き続き相談支援事業「のびやか」をよろしくお願い致します。



みんなできめる会



ねんど かつどうほうこく かんそう
○●2024年度 活動報告・感想●○

まつだ ねんかん かいぎ で がんば
松田：2年間、会議にたくさん出てすごく頑張りました。
てらだ ならだいかい さんか なかま じぶん
寺田：ピープルファースト in 奈良大会に参加して、仲間に自分
いけん かんそう つた
の意見や感想を伝えることができてよかった。
いわい ならだいかい い し ひと
岩井：ピープルファースト奈良大会に行って、知っている人と
めいしこうかん はなし たの
名刺交換して話 ができて楽しかった。
みやた わだいこ たの
宮田：ピープルファーストの和太鼓のパフォーマンスが楽しか
った。
みやの ねんかんやくいん ぼく さいしやくいん いろいろ
宮野：2年間役員をして、僕は最初役員の人々と色々
はなし ぎだい はなし き
話 とかいろんな議題をみんなでお話 をして決めたこ
とがよかったです。ピープルファーストに行って勉強
した後に、むこうの人と仲良くなれてよかったです。



ねんど かつどうもくひょう
○●2025年度 活動目標●○



2025年度 決める会役員
代表：岩井 真美弥さん
副代表：宮田 裕子さん
まつだ 松田 まゆみさん

いわい だいひょう みんな あし ひ ば
岩井：代表になって皆の足を引っ張らないように
ふくだいひょうふたり ま だいひょう がんば
副代表二人に負けず、代表らしく頑張りたい。
みやた き かい いっしょうけんめい はな あ
宮田：決める会みんなで一生懸命に話し合ってピープル
ファーストとか大阪会議に参加して頑張りたい。決
める会のみんなを引っ張っていきたい。役員で頑張
っていききたい。
まつだ こんかい やくいんせんきょ ま くや つぎ
松田：今回は役員選挙で負けて悔しかったけど、次こそ
だいひょう ねんかんがんばん
代表になれるように2年間頑張ります。

3/5式秀部屋とゆうとおんの交流会の報告

3/5には一歩食堂にて、毎年恒例のゆうとおんと式秀部屋さんとの交流会が開かれました。今年も決める会メンバーの進行で、質問コーナー、腕すもう大会、と力士の方に負けない熱い戦いが繰り広げられました。交流を楽しみにされている方、ちょっと大きな体格の方は苦手な方、色々ですが、1年に1度の交流を今後も続けていければと思います。

決める会（寺田さん・宮田さん・宮野さん）の皆さん、司会進行お疲れ様でした！いつも盛り上げてくれてありがとうございます！また式秀部屋の親方はじめ力士の皆さん、恵光寺の本多先生、ありがとうございました！来年も楽しみにしています！



《追悼》

3/14にお亡くなりになられた、若戸桜さんには、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。生前の慰問では大変お世話になりました。ありがとうございました。

八尾北高校トーンチャイム演奏の報告



2/14八尾北高校2年生の生徒さんがゆうとおんに来られ、トーンチャイムの演奏を披露されました。はーとの食堂にトーンチャイムの音が鳴り響き、後半は一緒に歌をうたいました。ゆうとおんからは、うえーぶのダンスクラブのメンバーが華麗なダンスを披露。お互いに交流を深めあう良い時間となりました。また今後も八尾北高校さんと色々な交流を行っていければと思います。



リレーエッセイ ～福井からはーと厨房調理員 平島さんへ～

福井志朗さんからバトンを引き継ぎました。はーとの厨房で働かせていただき、今年で12年が経とうとしています。毎日バタバタとしていますが、お昼ご飯を楽しみにしてくれる人たちがいる中、作る励みにもなり、又、美味しかったと言うてもらえると嬉しいし、たまにお口に合いませんでしたと言われる事もあります。今日は・・・さん完食や・・・とか、半分しか食べてない調子悪いのかな？とか思いながら日々過ごしています。

私は作るよりも食べるのが好きで、特に食べに行く事が大好きです。たまに孫と出かけたりしますが、後でどーっと疲れるのですが、仕事でしんどい時の方がしょうに合っている様に思います。これからも体に気を付けて皆さんに美味しかったと思ってもらえる様に頑張ってお飯作りしたいと思います。（次号ははーと松岡さんが担当です！）

当世作業所事情97

—— あつという間に30年 ——

♪時の過ぎゆくままにこの身をまかせ・・・♪というフレーズの歌が流行ったのはいつ頃だろうか。ゆうとおんも私も頼りなく漂いながら、出たとこ勝負の日々を重ねてきました。

1996年、10人弱の構成メンバーからスタートしたゆうとおんの現場も、今では100人以上のメンバー(障害当事者と職員)が、日々、活動しています。来年には30周年を迎えます。ゆうとおんにとっ

ては一つの通過点にすぎませんが、この間、記念イベントをしようかという話も出ています。

最初は気が乗りませんでしたが、30周年を機にゆうとおんが新たなスタートラインに立つのも悪くないなという気がします。ゆうとおんは多くの人の助力で生まれ、多くの人たちに支えられ30年目の春を迎えました。その30周年に立ち会ってみたいものです。私個人としては、たまたま「障害児」の保育所入所問題にかかわってから50年になります。「もおーいーかい」、「まあーだだよ」のくり返して今日までできてしまいました。

1974年の夏頃、職場の同僚の所に少し雰囲気

の変わった人が訪ねてきました。同僚は保育所の役員をしていました。聞くともなく聞いていると、八尾市の公立保育所から「障害児」はしめ出されている、入所に向けて協力してほしいという内容でした。

当時、私は八尾市の職員でしたが、そんな事態も知らなかったことに軽いショックを受けました。1975年の正月明け、母親たちを中心とした八尾市の正面玄関前での座り込みが始まります。その過程で八尾市も重い腰をあげ、交渉に応じるようになりました。座り込みを契機として「障害児」保育をすすめる八尾市民の会が生まれ、やがて教育や就労問題にも直面する事になります。

ゆうとおんのスタートには、その時の仲間がたくさん関わっています。ゆうとおんがスタートしてからの最初の一泊旅行が白浜でした。私は砂浜で車輪が動きにくい車いすのメンバーを負ぶって波打ち際まで連れて行きました。思えば体力も気力もまだまだありました。

今は一週間に一回程度の泊まり勤務でも、翌日の日中勤務は眠くて仕方がないというありさまです。当時と変わらないのは、悲観論者のくせに「何とかなるさ」と流れに身を任せて楽観的に生きてきたことくらいです。しかし、曖昧にやり過ごす事ができない事案が最近増えてきています。

その一つが後見人問題、そして看取り、虐待問題です。迅速な対応が遅れたり、言動が曖昧だったり、組織を運営していく上での調停能力不足が露呈したりと散々です。自分なりの原点を持ち続けたいとは思っていますが、時代の流れや自分を取り巻く状況を判断する力が、以前にも増して不足していることを改めて痛感させられています。

今までも度々取り上げてきましたが、Uさんの実姉である後見人のYさんによる差別的な振る舞いは、3年に渡って続いています。Yさんは偏見に満ちた障害者観を顧みることなく、Uさんを支配しようとします。2022年2月、日中はゆうとおんうえーぶで働き、ゆうとおんのグループホームで暮らすUさんを「自宅に引き取り、地元の作業所に通わせる」と言ってきました。Uさんに伝えると「いや」だと言います。Yさんに対して話し合いを呼び掛けましたが「その必要はない」と応じません。Yさんは妹を説得する代わりに、弁護士を通して「ゆうとおんとの契約を破棄して退去する」と通告してきました。何度確かめてもUさんは、Yさんの所に行くのは嫌だと言います。Yさんは自分の意思をはっきり表明できる人です。大阪で開催されたピープルファーストの全国大会で司会も務めました。Yさんは一方的に契約を破棄し、ゆうとおん

の法にもとづいた請求は、毎回、H市からはねられます。H市はもちろん実態を知っています。YさんはUさんの生活費も払おうとしません。ゆうとおんはことし、年末には2千万円を超える損害を被る事になります。今現在もYさんはUさんと自由に会っています。それでもUさんはYさんとの同居を嫌がります。わたし達は、今までもこれからUさんの意思を尊重したいだけです。私たちは、人権の砦であるはずの裁判所に救済を求めました。裁判官は私たちのいない所で、直接Uさんの意思を確かめています。その意思のありようを判断することなく、もう一人後見人を追加するという審判を出してお茶を濁しました。職業倫理に反する無責任な対応でした。新たに任命された後見人のIさんは、目の前の現実を理解し、Uさんのために動きました。しかしこの3月、Yさんと

これ以上一緒にやっていくのは無理だと言って、後見人を辞任しました。状況によってはこれから裁判が始まります。その節は行方を見守って下さい。

昨年の11月29日、グループホームゆつくりのTさんが亡くなりました。彼は末期がんで、大学病院で治療を受けていました。昨年の7月、もう有効な治療はないということで、地域医療に切り替える事になりました。

Tさんの親族と、Sクリニックとゆうとおんで話し合いを持ちました。その席上、私は「本人が望むなら、グループホームで看取ります」と安直な発言をしました。ゆうとおんが最後まで責任を持って関わりますという意味合いのつもりでした。発言を聞いていた親族とSクリニックは、何があっても入院は選択肢の中になく、自室で息を引き取ると解釈しました。私の軽率な発言が後でトラブルを引き寄せます。

これで末期がんでと思わせるほど元気だったTさんでしたが、腹水がたまり始める等、徐々に症状が顕在化してきます。ある時、二人で昼ご飯を食べに出かけました。その時の彼は、音楽と女性を語るまだまだ夢見る20代の青年でした。それからひと月もしない11月9日、事態は急変します。ガイドヘルパーと出かけた際の食事先で倒れました。医師の見立てでは軽い脳梗塞との事でした。そこから完全に昼夜逆転になります。それまでも夜間、世話人を呼ぶことが多く、世話人からは疲弊の訴えがあり、何とか対策を講じねばと思っていた矢先でした。

Tさん専属の態勢を作る為に、私はSクリニックに1週間程度の入院を要請しました。ところが私の先の発言が災いし、Sクリニックと親族は猛反発でした。「なんでも(協力)する」と言っていた親族

にも週一のローテーション入りを要請しましたが、これは断られました。有志を募り、17日から何とかTさん専属のローテーションがスタートします。1週間一度とはいえ、Tさんの要請は一晚中、絶える事はありません。私自身も翌日の勤務はばーっとしたままで、2,3日、体調が戻りませんでした。わたしは入院も選択肢の一つに入れる為に、K病院に話を聞きに行きたいと親族に了解を求めました。即座に拒否され、すぐにでもSクリニックに入院させると切り返されました。

その日の夜、私は当番で一晚中Tさんと一緒にいたが、いつものTさんでした。その翌々日、Tさんの容態が急変したとの報を受け、ホームに駆け付けました。その際、親族の意向だからと、ゆうとおんのK職員から入室を拒まれました。その日にTさんは亡くなりました。悔いが残って余りある「看取り」となりました。

紙数が尽きてきました。世話人のAさんの退職に関しては、いつか詳しい経緯をお伝えしたいと思います。この件に関しては、家族の思いを受け止めきれず、障害当事者の気持ちも汲み取れきれず、Aさんを守る事もできませんでした。「虐待」という言葉が錦の御旗となつて、対話の契機を阻んだ要因の一つになった気がします。苦しい思いがいつぱいの昨年度でした。

《ピオトープたより～2025 年春～》

ようやく春らしい季節になってきました。昨年の秋に植えた玉ねぎとカブが生育中です。

先日カブの収穫には一とより、行ってきました。

玉ねぎの収穫が終わると、夏野菜(きゅうりやピーマン、オクラなど)を入植予定です。

水やりが大変な時期になってきますが、また皆さんよろしく願います！



ゆうとおん協力会費へのご協力ありがとうございました。

2023 年度からの繰越金 9,443,267 円 2024 年度協力会費(2024 年 4/1～2025 年 3/31) 1,853,966 円

2025 年度への繰越金 11,297,233 円

■協力会費を頂いた方々(敬称略)

秋田芙久子 荒井和可子 池田由紀子 石原美紀子 伊藤章子 稲垣寛子 稲垣蓉子 鶴川雅基 内田雅裕
 浦の美知子 大岡照代 大下地恵子 大音英子 大谷快生 大星なるみ 奥村貴夫 小倉一郎 小崎美代子
 梶浦ひとみ 川崎志穂 河端利雄 小崎美代子 川原邦夫 喜友名奈津子 久宝まぶねこども園 窪田義廣
 熊田富子 熊田佳希 栗本克彦 甲田恭子 小西妙子 小林憲司 小松悦子 小森富美枝 金野昌子
 小路隆史 小路梨恵 下村啓子 庄野久子 食卓から暮らしを問い直す会 末光道正 滝沢厚子 竹井勇貴
 竹中文太郎 田中正和 田中百枝 谷口恵美子 橘田まゆ子 辻村真嗣 土橋恵子 鶴山忠 出口陽子
 ちいき食堂ありありす 地域ネットクレンド テラエナジー 長井豊子 中川正弘 中西政信 中野栄子
 中前友見 畑健次郎 浜崎美樹 福井笑子 福井志朗 福島正人 福田和人 福村清英 藤塚真紀
 堀田紀子 前田裕 松嶋陽菜 松井潤 松田晴代 松田弥生 松村麗子 丸山晃 宮野直子 宮本明男
 南伸樹 水沼朋子 水車むら農園 山本美千代 山谷由佳 和田優理子 和田典子
 T・S さん(匿名希望) (50 音順)

社会福祉法人 ゆうとおん

本部 / 〒581-0834 八尾市萱振町 2-133 TEL 072-993-0785 FAX 072-993-0784
 ゆうとおんはーと / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-68-1 TEL 072-926-6200 FAX 072-926-6199
 ゆうとおんうえーぶ / 〒581-0817 八尾市久宝園 2-30-4 TEL 072-926-1543 FAX 072-921-8883
 ゆうとおんほーぷ / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-73-2 TEL 072-927-1300 FAX 072-927-1301
 スタコラハウス / 〒581-0802 八尾市北本町 1-1-11 TEL 072-995-4387 FAX 072-995-4387
 メールアドレス / youtone@live.jp ホームページアドレス <http://www.eonet.ne.jp/~youtone>
 年会費 / 1 口 2,000 円 振込先 / 郵便為替口座 00910-9-106532

発行人 / 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階 定 価 / 50 円